**【別添１】**

**ノウフク・アワード２０２０審査基準**

農福連携等応援コンソーシアムのアイデンティティを「耕すみんなを応援する」とし、これに連動させ、ノウフク・アワード２０２０では「人を耕す」「地域を耕す」「未来を耕す」という３つのキーワードを評価軸に設定し、多様な視点・切り口から評価を行う。

|  |
| --- |
| ３つのキーワードの視点「人を耕す」=農福連携等を推進する多様な当事者に光が当たる取組になっているか「地域を耕す」=地域の課題解決、新規就農者の増加や生産者の収益向上・販路拡大を通じて、持続可能な地域社会のあり方を発信できるような取組となっているか「未来を耕す」=農福連携等の新しい価値、物語を発掘し、波及効果のある取組となっているか等 |

〇審査基準

|  |  |
| --- | --- |
| **評価軸** | **細　目　（評　価　ポ　イ　ン　ト）** |
| **１．人を耕す****（障害者等の自立支援・社会参画の実現、多様性のある社会）** | **【障害者等の社会参画】**〇　障害者等の工賃（賃金）の向上につながっている〇　障害者等の働く場所や生きがいを創出し、社会参画につなげている〇　障害者等の適性や能力が発揮できるよう、作業を選定したり、作業に工夫を行っている　等 |
| **【多様な人が暮らしている社会の実現】**〇　障害者等に対する理解が深まり、多様な人が暮らしていける社会へとつながっている〇　お互いの能力を認め合い、能力を生かすための工夫がある〇　多様な人がノウフクに関わることで、お互いを認め合う雰囲気が生まれ、地域社会に良い変化が起こっている　等 |
| **２．地域を耕す（地域の農林水産業の維持・発展、地域活性化に貢献）** | **【地域農林水産業の維持・発展に寄与】**〇　地域の農業労働力となって、農業経営の維持や規模拡大に貢献している〇　障害者等を労働力として活用することで、生産性が高まり、収益が向上している〇　高齢農家の農地の借り受けや耕作放棄地の活用などを通じて、農地の維持・耕作放棄地の発生防止に貢献している　等 |
| **【地域活性化や地域再生に寄与】**〇　直売所やレストランを開設するなどにより、地域内外からの交流を創出している〇　地域の祭りや行事の共催・参加を通じて地域の活性化に貢献している　等 |
| **３．未来を耕す****（持続可能な地域社会の実現と、新たな連携・つながり・好影響の創出）** | **【独創性、先進性、話題性、他地域への好影響】**〇　先進性、独創性、話題性がある取組である〇　これから農福連携に取り組みたい事業所等の模範となる取組である〇　人の心を動かす「ノウフク・ストーリー」がある　等 |